

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 11 日

評価対象事業		評価者	文化人権課担当課長 藤田 聡一郎		
共創-20	実施事業	文化行政推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化人権課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	文化	施策の方針	文化活動の支援・推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉の文化の質的向上と豊かな市民生活の創造を図るため。
効果	市民をはじめとする多くの人々が集い、事業を通じ文化活動の活性化を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象に鎌倉ゆかりの文化人、芸術家等による出前授業を行った。 ・旧前田邸の管理業務を行った。 ・市民文化祭の展示部門として美術・写真・書道の公募展と鎌倉彫・華道等の団体展を行うとともに舞台行事部門として市民団体による音楽及び演劇等を行った。 ・市制施行80周年記念式典、市制施行80周年記念事業を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等の	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数	34,896人		36,292人				
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	8,914	10,591	当初予算(千円)	8,733		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	110	140	その他	151		
	一般財源	8,804	10,451	一般財源	8,582		
	人員配置数	1.5	2.5	人員配置数	1.8		
事業経費運営	人件費(千円)	11,939	20,643	人件費(千円)	15,838		
	総事業費(千円)	20,853	31,234	総事業費(千円)	24,571		
	市民1人当りの経費(円)	118	177	市民1人当りの経費(円)	139		
	対象者1人当りの経費(円)	598	861	対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある	
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		<input type="radio"/> 協働実施済	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市民文化祭企画運営委員会、市民団体
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容 市民文化祭など既存事業の運営方法等を見直す。
			事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	事業内容の見直しを行いながら、本市における文化活動の活性化を図るため
総評(評価に対する考え方、根拠等)	効率性については、事業費等の見直しの余地があることから、「削減余地」は「ある」とした。妥当性については、平成20年度以降指標値を超える市民等が文化行政推進事業を通じ文化・芸術に親しんでいることから、「市民ニーズ」「廃止・休止による影響」は「ある」とした。有効性については、工夫の余地が認められるため、「事業の成果」は「概ね出ているが、更なる努力が必要」とし、「上位施策に向けた貢献度」は多くの観覧者、参加者があることから、「一定程度貢献している」とした。協働については、文化行政推進事業の中で最も観覧者数等の多い鎌倉市民文化祭を企画運営委員会と共に行っている。今後も事業手法等を検討し費用対効果を考慮しながら、事業を通じ、より多くの市民の文化活動の活性化に資するよう取り組んでいく。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭について市と市民の役割等について整理しつつ、さらに事業費等の見直しを進める。 鎌倉版フィルムコミッション制度を早期に構築し、運営を目指す。 旧前田邸の活用には耐震改修やバリアフリーのための改修等、多額な費用の支出を前提としているため、それに見合う具体的な文化的活用策が見い出せていない。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭について市と市民で構成された企画運営委員会と協議しながら、事業費等の見直しを進めた。 フィルムコミッション事業の実施に向けて、実施主体である公益社団法人鎌倉市観光協会を支援するため、本市と同協会の間において同事業にかかる連携に関する協定を締結した。 旧前田邸については、活用に向けた有効な手法等の情報収集に努めた。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭について市と市民の役割等について整理しつつ、さらに事業費等の見直しを進める。 旧前田邸の活用について具体的な活用策が見い出せていない。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	観覧者数(年間)	単位	人	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由							
より多くの市民等に文化芸術に親しんでもらうため。(R1実績内訳: 文化祭31,597人、ようこそ先達1,170、子ども表彰7、80周年絵記念式典356、80周年記念事業2689)	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
	目標値	29,500.0	29,500.0	29,500.0	29,500.0	29,500.0	29,500.0
	実績値	42,481.0	43,281.0	35,354.0	35,606.0	34,896.0	36,292.0
	達成率	144.0%	146.7%	119.8%	120.7%	118.3%	123.0%
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							